

静岡県漁業協同組合連合会

1005 静岡市追手町 9-18
14.8.9 ☎ 054-254-6011
編集・発行 = 指導部漁政課

1. 本会テングサ共販第3回入札会開催される

本会では、去る7月31日賀茂出張所においてテングサ事業の第3回入札会を開催し、入札結果は次のとおりです。

数量：5,476kg(221本) 取扱金額：6,069千円 平均単価：11,082円(10kg当たり)

最高入札価格：北川見高まくさ(粗)17,160円(10kg当たり)

この結果、第3回までの取扱累計は数量46,293kg、1,856本(対前年比1,665kg、66本増)取扱金額44,038千円(同328千円増)、平均単価9,512円(282円安)となりました。

なお、次回(第4回)の入札会は8月21日(水)を予定しています。

2. 夏休み親子おさかな体験教室開催 定置網漁を見学 - 県おさかな普及協議会 -

県おさかな普及協議会(原剛三会長)では、去る7月30日、由比町漁協及び8月2日、小川漁協を会場として夏休み親子おさかな体験教室を開催しました。

この教室は、おさかなふれあい事業の一環として県民に本県漁業の実態や水産物の新鮮さや美味しさをアピールし、豊かな郷土食文化を実感してもらうことを目的に開催しているもので、今年で7年目となります。

当日は、一般公募により夫々選ばれた親子38組、78名が漁船に乗り込み由比倉沢沖、焼津和田浜沖に設置された定置網の網起し風景を見学したあと、魚市場において水揚げやセリ風景を見学しました。参加した親子はアジ、カマス、タチウオなど多種多様のさかなが水揚げされる光景に興味深く見入っていました。

その後、引続き慣れない手でアジ、イカなどのおろし方を習ったり、とれたての魚を使った魚料理を味わうなど、水産物の新鮮さや美味しさを実感し、夏休みの楽しい一日を過ごしました。

3. 漁港漁場関係者実務研修会開催される

県漁港協会(鈴木藤一郎会長)及び県沿岸漁業振興協会(原剛三会長)では、去る8月1日静岡市内において県下漁協、市町村漁業関係担当者約50人を集め、平成14年度漁港漁場関係者実務研修会を開催しました。

研修会は、主催者を代表して原会長の挨拶のあと講演に入り、最初に水産庁漁港漁場整備部計画課情報システム係 内田智氏により「水産基盤整備の今後の方向」と題した講演が行われました。次に、水産庁漁港整備部防災漁村課長補佐 西尾高喜氏による「水産基盤整備事業等の実施上の留意点について」、県漁港整備室管理計画スタッフ主幹 八木和利氏による「早稲田まちづくりシンポジウムに出席・報告」、県漁港整備室管理計画スタッフ

副主任 北川裕人氏による「新規事業等の紹介」、県漁港整備室管理計画スタッフ主査杉山雄二氏による「PFI事業について」、県漁港整備室管理計画スタッフ主幹 高柳保平氏による「プレジャーボート対策について」、県水産振興室施設整備スタッフ主幹 津久井文夫氏による「つくり育てる漁業の今後の方向について」の講演が行われました。

4. 船釣初心者対象にフィッシングスクール開催

県遊漁船業協会(原剛三会長)では去る8月2日由比漁港において、フィッシングスクールを開催しました。

この教室は船釣に対する関心を高め、新たな利用者の開拓に努めるとともに水産資源の保護培養と海の環境保全、更には海の利用に対する認識の高揚を図ることを目的に開催しているもので本年で7回目となります。当日は、県内から約90名の船釣初心者が参加し、釣道具の取扱い方や乗船上の注意事項の説明を受け、由比沖で遊漁船業者の指導のもと、アジやソウダガツオ釣を体験しました。

5. 漁師になりたい人へ「ザ・漁師塾」「漁師フェア」開催される

鹿児島県では7月20、21日の両日鹿児島市内などで漁業就労希望者を対象にした「ザ・漁師塾」の入門研修会が開催され、地元鹿児島県以外からの6名や女性4名を含む46名が参加し、漁業制度や漁業者の体験談を聞き漁業の基礎知識を学びました。

初日の座学研修では、漁業権など漁業制度について説明を受けた後、定置網、一本釣、養殖業を営む漁業者から仕事上の苦労話などを交えながら説明が行われ、研修生からは年収はどのくらいなのか、どんな魚が獲れるのかなどの質問が相次ぎました。

2日目の体験乗船には33名が参加し定置網、一本釣、養殖の3班に分かれ、一本釣では実際にイサキを釣上げるなど生の漁業を体験しました。

また、JF全漁連就労者確保育成センターが大日本水産会、沖合・遠洋漁業就労者確保育成センターの協力を得て、漁業への就労を希望する人へ情報を提供する「漁師フェア」が7月28日大阪、8月3日東京の2会場で開催され、漁業就労を希望する約260名が集まり各種漁業の紹介、Iターン漁業者による体験談、就業受入団体の仕事内容の説明や体験漁業などのPRが行われました。

漁業就労者が不足し漁業生産が伸び悩む中で、このような催しが各地で開催されており、今後人材確保のためには官民一体となり新たな人材確保に向けて工夫が必要な時期に来ているようです。

6. 諸会議・日程 (8月13日(火)~8月26日(月))

- 既報分省略 -

8月19日(月) 県漁業共済組合 = 理事会 (県水産会館)

8月21日(水) 県漁連会長漁協巡回 内浦~富士養鱒漁協

8月22日(木)~23日(金) " 初島~南伊豆町漁協、松崎町~戸田漁協

8月26日(月) " 浜名湖養魚~福田漁協